

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和3年12月9日(2021.12.9)

【公開番号】特開2021-35074(P2021-35074A)

【公開日】令和3年3月1日(2021.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2021-011

【出願番号】特願2019-149071(P2019-149071)

【国際特許分類】

H 02 P 29/024 (2016.01)

【F I】

H 02 P 29/024

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月19日(2021.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

制御対象(80)の動作を制御する動作制御部(151、251)と、

異常監視を行う異常監視部(155、255)と、

異常監視結果に応じた異常情報が記憶される記憶部(156、256)と、

を備え、

監視対象異常が検出された場合、異常発生に伴う異常時処置への移行判定に係る異常時処置確定判定と、異常解析に用いられる前記異常情報として前記監視対象異常を不揮発性メモリである前記記憶部に記憶させる異常記憶確定判定と、が異なっている制御装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明の制御装置は、動作制御部(151、251)と、異常監視部(155、255)と、記憶部(156、256)と、を備える。動作制御部は、制御対象(80)の動作を制御する。異常監視部は、異常監視を行う。記憶部には、異常監視結果に応じた異常情報が記憶される。監視対象異常が検出された場合、異常発生に伴う異常時処置への移行判定に係る異常時処置確定判定と、異常解析に用いられる異常情報として監視対象異常を不揮発性メモリである記憶部に記憶させる異常記憶確定判定と、が異なっている。これにより、監視対象異常を適切に記憶させることができる。